



UNIVERSITY OF ST. AUGUSTINE  
FOR HEALTH SCIENCES

## 第2回 日本徒手療法学会学術集会



### 本質を捉える徒手理学療法

#### - 臨床に必要な知識と技術 -

本邦において、これまで徒手療法が発展してきたことは、それを推奨してきた立場からは嬉しく思います。しかし、徒手療法を実践する立場からではなく、理学療法その他分野から見て徒手療法はどのように映っているのでしょうか。また、患者の立場から見て本当に役立っているのでしょうか。今日、我々が考えなければならないことは、医療として、そして理学療法の中で徒手療法がしっかり受け入れられているかどうかです。

これまで手技重視の徒手療法が推し進められ、分かる人だけが分かれば良い、という感覚的な部分が強かった印象を持っています。そこで、長期的な視点でみたとき本当に何が重要であるのか、つまり本質を見失っていなかったか考えることがあります。自己満足的な用語の使用、一時の症状改善での満足、トピックスへの過度な熱中などについて徒手療法界では頻繁に聞きます。果たしてこれで良いのでしょうか。真実を見極めているのでしょうか。これらの現象は過度な手技重視によって生じた弊害であると考えます。医療としての、そして理学療法の中での徒手療法である以上は、(1)知識の限界・治療効果の限界を正直に理解する、(2)共通言語を使用し、そこから他分野、他職種とコミュニケーションを図る、(3)現在の立場・問題点を明確にし、次世代の理学療法士へ引き継ぐ、ことが欠かせないはずであります。これらは、解剖学などの基礎知識を着実に学習していく過程で構築されることで可能となります。言い換えれば学術的な思考、学術的な徒手療法であります。

本学術大会では、「本質」を再認識すべく上部頸椎の機能解剖の今日までの理解と限界について講演いたします。また講習会で学んだ知識をいかに臨床現場で利用できるのか、我々が実際におこなっている本邦では珍しい卒後教育臨床実習について、その詳細を紹介いたします。本学会に参加していただくことで、今まで以上に徒手療法を理学療法の土台として理解していただけるよう、そして時代に適した徒手療法の普及の一助につながることを期待します。

平成 25 年 3 月  
佐藤友紀



UNIVERSITY OF ST. AUGUSTINE  
FOR HEALTH SCIENCES

## 内 容:

### 基調講演

「上部頸椎機能解剖（靱帯を中心に）」

佐藤友紀 PT, PhD, MTC (St. Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

### 海外招待講演

「Posture from the Manual Physical Therapist's Perspective  
徒手理学療法士の視点から見た姿勢の評価と治療」

Rob Stanborough DPT, MHSc, MTC, FAAOMPT (St. Augustine 大学 MF1 インストラクター)

### 活動報告

「卒後教育臨床実習の試み」 増井健二 PT, MTC (St. Augustine 大学 S1 インストラクター)

症例発表(ポスター) 複数名

**日 時:**平成 25 年 12 月 1 日 (日) 9 時から 15 時

## 場 所:

大阪医療福祉専門学校 (大阪市淀川区) 新大阪駅 (JR・地下鉄御堂筋線) より徒歩すぐ

## 参加費:

日本徒手療法学会	会員 3,000 円 (日本徒手療法学会 会員カード 5 ポイント贈呈)
日本理学療法士協会	会員 5,000 円
その他一般	7,000 円
学生	1,000 円 (理学療法士有資格者を除く)

公益社団法人日本理学療法士協会 新人教育プログラム修了者の方は認定・専門理学療法士履修ポイント 5 ポイントが取得できます。

申込方法: メールにて件名に「第 2 回 学術集会」

本文に①お名前 ②日本徒手療法学会 会員・非会員

③日本理学療法士協会 会員・非会員(会員番号) ④所属施設名・住所・電話番号

⑤返信先メールアドレス ⑥ご経験年数 ⑦領収書必要の有無を明記の上、

[jsmt@kaisei-hp.co.jp](mailto:jsmt@kaisei-hp.co.jp) までお送りください。

1 週間たっても返信がない場合は電話にてご連絡ください。